

## 2度葬送された藩祖結城秀康

1607年（慶長12）に34歳で死去した福井藩祖結城秀康は、三陽和尚を導師として一旦は結城家菩提寺の曹洞宗孝顕寺に葬られます。これに対し徳川家康は秀康が徳川の一門であることから、徳川家の宗旨の浄土宗寺院に改葬すべきとしました。そこで福井藩は、家康の意に従い京都知恩院から満<sup>まんよ</sup>蒼和尚を招請して同年浄土宗運正寺（浄光院）を足羽山北麓に建立し、その後秀康の運正寺への改葬が行われました。

この改葬に伴い、結城秀康の法号は孝顕寺殿から浄光院殿に変更されました。



浄土宗運正寺（福井市足羽1丁目）